

2024 年度 「中国 大連通信」

2025 年 1 月 27 日

駐大連北九州市経済事務所

◆所 長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚

◆副所長 呂 俐 ◆職 員 畢 偉宸

松江 E-mail: fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com

～中国・大連市における日本語人材～

外務省「令和 5 年 海外在留邦人数調査統計」によると、大連市には 1,700 社超の日系企業が進出し、3,000 人超の日本人が暮らしています。大連市は日本と歴史的にも繋がりが深く、日系企業や和食料理屋などあらゆる場所に日本語人材が存在しており、優秀な日本語人材が企業活動や駐在員の日常生活を支えています。今回は、中国・大連市における日本語人材について紹介します。

■大連市の大学における日本語教育

先月、大連市にある「遼寧師範大学」の日本語専攻の学生に講義をする機会を頂き、北九州市や日本文化などについての紹介を行いました。師範大学とは、日本で言うところの教育大学に相当し、多くの学生が将来教員を志します。

今回講義させて頂いたのは、学部 2 年生と院 1 年生でしたが、特に院生に関しては留学経験がないに関わらず流暢に日本語を話すことができ、日本語の能力的には、今すぐ日系企業で働いても問題ないレベルにあると感じました。

また、学生たちの学習意欲も高く、この講義中も積極的に質問をし、講義後には学生自ら率先して次回講義までの課題を担当教授に聞くなど、日本語習得に対する熱量の高さが垣間見え、感銘を受けました。



※遼寧師範大学で講義をさせて頂いた時の様子

大連市内には、日本語専攻を有する大学が 15 校あり、今回講義をさせて頂いた遼寧師範大学や当事務所の現地職員 2 人が卒業した大連外国語大学は、日本語教育で全国的にも有名な大学です。特に大連外国語大学は、大連日語専科学校として設立するなど、昔から日本語教育に力を入れており、現在でも日本語専攻の学部生約 2,000 人、院生 400 人が在籍する世界最大の日本語教育機関として名を馳せています。

■大連市における日本語人材

大連市で生活していると、仕事も私生活もほとんど日本語だけで事足りるのではないかと思います。街中に日本語人材が溢れている事を実感します。実際に、大連市の日本語能力検定試験最難関である N1 試験の受験者数は、広州・上海・北京に次ぐ第 4 位ですが、人口 100 万人あたりの受験者数で見ると第 1 位に躍り出ます。

2024 年度第 1 回(7 月) 都市別 N1 合格者数

都市名	N1 受験者数	人口	100 万人あたりの受験者数
広州	6,675 人	1,873.4 万人	356.3 人
上海	4,979 人	2,475.8 万人	201.1 人
北京	2,924 人	2,185.8 万人	133.7 人
大連	2,650 人	608.8 万人	435.2 人
西安	2,204 人	1307.8 万人	168.5 人

出所：日本語能力検定試験 HP、各都市 HP より作成

1990 年から大連市で毎年開催されている「キャノン杯 日本語弁論大会¹」は、昨年第 35 回を迎え、小学校から大学に通う約 15,000 人の参加者の中から予選を勝ち抜いた 18 名がスピーチを行いました。15,000 人という参加者の数からも、大連市における日本語人材の充実度を伺い知ることができます。

また先月には、大連領事事務所主催の「第 6 回 日本語人材育成フォーラム」が開催され、大連市の優秀な日本語人材が日系企業へ就職するための、より実践的な日本語教育に関する講演が行われました。このように大連市では、官民一体となり日本語人材の育成に向けて様々な取り組みが行われています。



※大連領事事務所や JETRO 共催「第 6 回 日本語人材育成フォーラム²」の様子

¹ キャノン株式会社、当社中国現地法人、大連市人民対外友好協会による共催

² 大連領事事務所、JETRO、大連日本商工会、中国日語教学研究会大連分会による共催

■日本での就職を志す中国の学生

中国全体に目を向けると、中国では景気低迷を受け、若年層の失業率の高さが課題になっています。中国国家统计局が発表した 2024 年 12 月の都市部若年層（16 歳～24 歳）の失業率は 15.7%と前年同月比（14.9%）を上回り、高止まりが続いています。

近年ではこの就職難を背景に、大学院へ進学し就職を先送りするケースも増加しており、大学院への入学者数はコロナ禍前 2019 年の 91.65 万人から、2023 年には 130.17 万人と 40%超も増加しました。

またここ数年、日本での就職を希望する学生が増加しているとのことです。実際に遼寧師範大学で講義をさせて頂いた際も、日本で働く上での注意点やインターンシップなどについて、日本で働くことを見据えた質問が目立ちました。

今回講義させて頂いた学生たちの担当教授にも話を聞きましたが、「コロナ禍前と比べると、日本での就職を希望している学生は確実に増えている」とのことで、遼寧師範大学で日本語を学ぶ優秀な学生でも、コロナ禍前のように中国国内で就職先を見つけることは難しくなっているようです。

■結びに

今後のトレンドとして、今回紹介した遼寧師範大学の学生のように、日本での就職を希望する優秀な日本語人材が増えることが予想されます。日本では近年、企業の人手不足が深刻化していますが、中国人学生の日本で働きたいという需要が日本の人手不足を解決する 1 つの手段になるかもしれません。

また、ビジネスをする上でも、大連市は親日で日本語人材が多く、日本人にとってはビジネスしやすい環境が整っていると思います。2025 年 12 月 31 日までは、ビザなしで中国への入国が可能ですので、大連に足を運んで頂いて優秀な日本語人材を肌で感じてみてください。そして、中国でのビジネスに少しでも関心があれば、当事務所が全力でお手伝いさせていただきますので、是非お声がけ下さい。